

科目名 Subject	平面造形演習 I Two Dimensional Art Work I			教員名	栗本 佳典	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	2単位	
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	30時間	
実践的教育	×					
主な学習効果	美容技術とデザイン力、すなわち美容における実践力			表現力、すなわち芸術における実践力		
	—			◎		
科目の概要	表現力や造形力の土台となる基本的なデッサンをはじめ、自ら画面構成を考える応用デッサンを行います。 また、平面造形にとって大切な明暗表現や色彩表現などの演習も行います。					
授業方法	対面授業					
授業の目標	物の形やバランス、量感、質感などを客観的に正しく把握すると同時に、画面全体と部分との関係、画面構成などを考える力を養うとともに、様々な描写技法により画面を作ることができる。また、自分の作ったものを客観的に観察し、完成度の高いものを求め制作することができる。 授業を通して造形力を高め創意工夫する力を身につけることによって、創意ある豊かな人生を歩むことができる。					
時間外学習 (予習・復習)	月に1回は展覧会を見に行き、すぐれた絵画作品を数多く鑑賞しその背景や表現内容、表現方法について研究して下さい。1回ごとの鑑賞・研究に要する時間は8時間程度とする。					
教科書・教材	教科書		なし			
	教材		なし			
	使用設備・備品		なし			
	参考文献		なし			
評価方法	表現方法の理解度20% 課題に取り組む姿勢50% 課題作品の完成度30%					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。					
履修上の注意						
本科目履修と関連する資格	資格名					

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第 1 回	オリエンテーション	学位取得に向け、作品制作における意義を理解し進めることができる。	
第 2 回	基礎デッサン①捉える	形や明暗を捉え表現する方法を理解し描くことができる。	
第 3 回	基礎デッサン②仕上げる	形や明暗をを確認しながら画面を仕上げることができる。	
第 4 回	応用デッサン①捉える	形や明暗、質感を捉える方法を理解し描くことができる。	
第 5 回	応用デッサン②描く	形や明暗、質感を意識して描くことができる。	
第 6 回	応用デッサン③高める	画面全体の明暗を意識して描く力を高めることができる。	
第 7 回	自動描写と彩色①描写	無意識による制作を行うことで作品の幅を広げることができる。	
第 8 回	自動描写と彩色②彩色	無意識によってできた作品に、意識して彩色を行うことで作品の幅を広げることができる。	
第 9 回	キュビズム的デッサン①基礎	キュビズム的デッサンの手法を知り描くことができる。	
第 1 0 回	キュビズム的デッサン①基礎	キュビズム的デッサンの手法を知り描くことができる。	
第 1 1 回	キュビズム的デッサン②画面作り	構成したものをバランスを考えて画面作り上げることができる。	
第 1 2 回	キュビズム的デッサン②画面作り	構成したものをバランスを考えて画面作り上げることができる。	
第 1 3 回	キュビズム的デッサン③仕上げ	バランスや明暗を考えて画面全体を作り上げることができる。	
第 1 4 回	キュビズム的デッサン③仕上げ	バランスや明暗を考えて画面全体を作り上げることができる。	
第 1 5 回	講評会	自分が制作した作品について説明することができる。	